

## **第 1 号議案：2022 年度活動報告 (自 2022 年 4 月 1 日、至 2023 年 3 月 31 日)**

本年度は 4 年目となった COVID-19 の影響が薄れ始め、社会活動が徐々に正常化すると同時に、オンラインの利便性と対面の利点を使い分けることを求められる中、活動方針として掲げたスローガン「国内 PE のためのベースキャンプ構築」を基に、以下の年間目標に沿って活動を推進しました。

### ① CPD セミナーに関する会員満足度の充足と拡大

- JSPE day に加え、技術 CPD セミナーを 3 回、鬼金 CPD セミナーを 4 回、英語セミナーを 3 回、エンジニアズサロンを 2 回実施することで、エンジニアとしての継続教育をサポートしました。延べ参加者数は 372 名と多くの方に参加いただき、合計 811 hrs の CPD を発行しました。
- ニーズの高かった英語セミナーを定期開催できるよう講師と検討を重ね、負担と継続性のバランスを調整し年 3 回のペースで実施できるようになりました。
- 各種セミナーの費用面についても、ニーズが高いオンライン形式を中心に進めることでほとんどの CPD セミナーを会員向けに無償で提供できました。
- 昨年までコロナ禍で開催できなかった技術施設見学会をオンサイトにて実施しました。
- 会員サービスの一層の充実を目的にオンデマンドセミナーについて検討を進め、CPD 発行機能に制限があるものの 2022 年度に開催した全 12 セミナーを視聴できるトライアルを開始しました。ツールの環境依存性により現行のホームページの刷新が必要となることも分かったため、2022 年度末に定めた仕様を基に、2023 年度の正式版公開へ向けて外注先と準備を進めています。

### ② 世代間交流の促進と会員ネットワークの拡大

- NSPE との連携については、役員が互いの年次総会に参加できずビデオレターを交換する状況が続いていましたが、フィラデルフィアで対面開催された NSPECON においてこれまでの協力に感謝すると共に、今後も関係を維持・向上していくことを確認しました。
- G20 主催国であるインドネシアからサイドイベントとして初めての試みである E20 (Engineer 20)への招待を受け、将来の社会を支える Leader Engineer を生み出すためには何が必要になるかについて議論しました。
- PE 受験登録相談会を年 2 回開催し、試験担当である JPEC から直接説明いただくことで、会員が最新の試験情報を入手しやすい状況を整えました。
- 2021 年度より開始した有志会員による勉強会は、3 テーマ (イノベーションマネジメント、エネルギー新領域と省エネ、カーボンニュートラルに向けた先進企業の取り組み) に拡張し開催しました。さらにその成果報告会をエンジニアサロンの形で会員へフィードバックすることで、会員交流と継続学習を兼ねた活動を行いました。

### ③ 会内情報の対外発信の強化

- JSPE の活動が会員外の一般の方の目にとまるよう、2022 年度はほぼ全てのイベントについて SNS による広告を発信し、2021 年度の 6 倍となる約 430,000 人の視聴者を得ました。SNS の媒体も昨年までの Facebook に加え、Instagram と Twitter を追加することで、情報を多角的に発信しています。
- SNS 広告については、JSPE の認知度をさらに向上するため、これまでのイベントに関係した単発だけでなく、PE の価値や役割、JSPE による PE を目指す会員へのサポート体制などを発信する通年での広告を開始しました。

JSPE 活動への参加者と発行 CPD は、セミナー講師の確保に苦慮し予定した回数を実施できず合計 811 hr (2022 年比 -300 hr) と減少しました。一方で、海外ネイティブ講師による英語学習セミナーが定期開催できる体制ができ、ライブ以外のオンデマンドによる録画セミナーも開始し、会員主体の勉強会も軌道に乗り、と会員へ多様な継続学習機会を提供する下地はできつつあります。

会員数は 313 名から 305 名へと減少に歯止めがかかっていません。現役エンジニアの定年に伴う退会だけでなく、PEN や FE 会員が PE を目指すことを諦めて退会するのも散見されています。会員数の維持・増加は会の持続性と会員の多様性に必要なことから、次年度は会員価値を一層増大する活動を進めることで、退会を防止し、会員増加となるよう働きかけていきます。

また、会の運営を担う理事の負担が大きい点も、会の継続性へのリスクといえます。今後も、運営の効率化や外部委託可能な範囲を広げると共に、従来のような活動の主体を理事とする体制から、勉強会のように会員主導の活動比率を増やすことで会の継続性と発展性を担保していきます。

#### 【用語】

NSPE : National Society of Professional Engineers 全米プロフェッショナルエンジニア協会

PE : Professional Engineer 米国の専門職技術者ライセンス

**第 1 号議案 2022 年度活動報告 (実施行事一覧表および会員数推移)**

年月日	行事名	実施場所	時間	参加者	供給 PDH
<b>CPD セミナー</b>					
Apr 16, 22	第 343 回技術 CPD セミナー: 自治体向けインフラマネジメント支援とデータサイエンスを援用した診断技術	Web: Zoom	1.5	31	46.5
Jun 11, 22	第22回年次総会 第2部 特別CPDセミナー	東京: 東京 グランドホテル	3.5	61	91.5
Aug 21, 22	FY2022 第 1 回英語セミナー (第 344 回 CPD セミナー) Famous Canadian engineering projects	Web: Zoom	3	41	123
Sep 24, 22	第 345 回鬼金 CPD セミナー: 初学者のためのプロジェクトマネジメント～プロジェクトマネジメントの知識をアップデート～	Web: Zoom	2	14	28
Oct 15, 22	JSPE Day 2022: COVID-19 とエンジニアリング	Web: Zoom	2	36	72
Dec 11, 21	FY2022 第 2 回英語セミナー (第 347 回 CPD セミナー) Famous Canadian engineers and companies	Web: Zoom	3	22	66
Dec 24, 22	第 348 回技術 CPD セミナー: 脱炭素社会 = 電化社会に向けて電力システムを再考する	Web: Zoom	2	45	90
Jan 28, 23	第 349 回鬼金 CPD セミナー: デジタル化の先にある DX へ向けて～国内外におけるレガシーシステムからの脱却例～	Web: Zoom	3	27	81
Feb 11, 23	第 350 回鬼金 CPD セミナー: PMBOK®ガイド第 7 版におけるリスク管理概要	Web: Zoom	3	20	60
Mar 12, 23	FY2022 第 3 回英語セミナー(第 351 回 CPD セミナー) Brushing up your application skills for an engineering job in Canada	Web: Zoom	3	16	48
Mar 18, 23	第 352 回鬼金 CPD セミナー: 地域貢献活動プロジェクトのマネジメント	Web: Zoom	3	11	33
<b>エンジニアズサロン、施設見学会</b>					
Sep 14, 22	FY2022 第 1 回エンジニアズサロン: エネルギー問題と地政学: Daniel Yergin 著作, "The New Map - Energy, Climate and the Clash of Nations"から	Web: Zoom	1.5	27	40.5
Mar 1, 23	FY2022 第 2 回エンジニアズサロン: サステナブル・ファイナンスを支える非財務情報開示とは何か? ～TCFD の概要とそれに対する企業対応の現状について～	Web: Zoom	1.5	15	22.5

Mar 15, 23	FY2022 工事現場見学会	東京：環状七号線地下広域調節池(石神井川区間)工事現場	1.5	6	9
<b>勉強会</b>					
Sep. 15, 22 Oct 13, 22 Nov 16, 22 Dec 15, 21 Jan 19, 23	カーボンニュートラルに向けた先進企業の取り組み-1 <sup>st</sup> ~ 5 <sup>th</sup>	Web: Zoom	5	1	-
Sep. 17, 22 Oct 15, 22 Nov 19, 22 Dec 17, 21 Feb 18, 23 Mar 18, 23	エネルギー新領域-1 <sup>st</sup> ~ 6 <sup>th</sup>	Web: Zoom	6	7	-
Sep. 17, 22 Oct 22, 22 Nov 19, 22 Jan 19, 23 Feb 18, 23 Mar 25, 23	イノベーション・マネジメント-1 <sup>st</sup> ~ 6 <sup>th</sup>	Web: Zoom	6	7	-
合計			51.5	372	811

年月日	行事名	場所	参加者
<b>会員交流等</b>			
Apr 15, 22	三重大学大学院 機械工学特別演習 “米国 PE 資格取得の意義”	三重大学	59
Jun 11, 22	第22回年次総会	東京：東京グランド ホテル Web: Zoom	61
Jul 15, 22	三重大学大学院 機械工学特別演習 “Engineering Economics-1”	三重：三重大学	60
Jul 22, 22	三重大学大学院 機械工学特別演習 “Engineering Economics-2”	三重：三重大学	60
Oct 29, 22	PE/FE 受験・登録相談会	Web: Zoom	12
Mar 25, 23	PE/FE 受験・登録相談会	東京：北とびあ Web: Zoom	21

情報配信			
Apr 1, 22	JSPE マガジン春号 配信	-	-
Jun 1, 22	2021 年度 JSPE 事業報告書発行	-	-
Jul 1, 22	JSPE マガジン夏号 配信	-	-
Oct 1, 22	JSPE マガジン秋号 配信	-	-
Jan 1, 23	JSPE マガジン冬号 配信 (会員限定)	-	-
理事会			
May 14, 22	5 月度理事会	東京 : Mixer Web: Zoom	12
Jul 16, 22	7 月度理事会	東京 : Mixer Web: Zoom	12 directors
Sep 10, 22	9 月度理事会	東京 : Mixer Web: Zoom	9
Nov 12, 22	11 月度理事会	東京 : Mixer Web: Zoom	10
Jan 14, 23	1 月度理事会	東京 : Mixer Web: Zoom	12
Mar 11, 23	3 月度理事会	Web: Zoom	11

## 2022 年度 会員数推移

会員種別		2022 年 3 月 31 日現在	2022 年度中推移※			2023 年 3 月 31 日現在
			入会者	種別 変更者	退会者	
正会員	PE	180	3	+12/-0	8	187
準会員	PES	1	0	0	0	1
	PEN	59	10	+2/-12	6	53
	FE	46	1	+2/-2	6	41
	AF	18	1	+1/-2	1	17
	ST	9	1	+0/-1	3	6
合計		313	16	+17/-17	24	305

※種別変更：会員が FE から PEN に、あるいは FE、PEN から PE のように昇格した場合を指す。

第1号議案 2022年度決算報告（活動計算書、貸借対照表、監査報告等）

書式第13号（法第28条関係）

事業報告用

2022年度 活動計算書

特定非営利活動法人日本プロフェッショナルエンジニア協会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>経常収益</b>		
1	受取会費		3,411,750
	正会員受取会費	2,208,000	
	準会員受取会費	1,157,250	
	入会金	46,500	
2	受取寄附金		1,737,811
	ボランティア受入評価益	1,737,811	
3	受取助成金等		0
	受取補助金	0	
4	事業収益		274,500
	研修教育事業収益	126,500	
	調査研究事業収益	148,000	
	機関誌発行事業収益	0	
5	その他の収益		9,082
	受取利息	82	
	雑収益	9,000	
	<b>経常収益計</b>		<b>5,433,143</b>
<b>【B】</b>	<b>経常費用</b>		
1	事業費		
	(1) 人件費		990,379
	ボランティア評価費用	990,379	
	(2) その他経費		2,029,053
	会議費	20,360	
	諸謝金	430,271	
	旅費交通費	720,100	
	印刷製本費	451,146	
	消耗品費	18,702	
	諸会費	112,350	
	通信運搬費	244,953	
	団体交流費	31,171	
	<b>事業費計</b>		<b>3,019,432</b>
2	管理費		
	(1) 人件費		747,432
	ボランティア評価費用	747,432	
	(2) その他経費		1,899,162
	印刷製本費	10,064	
	業務委託費	297,000	
	会議費	259,639	
	旅費交通費	169,008	
	通信運搬費	814,200	
	消耗品費	15,016	
	賃借料	89,100	
	保険料	7,000	
	支払手数料	34,135	
	貸倒損失	204,000	
	<b>管理費計</b>		<b>2,646,594</b>
	<b>経常費用計</b>		<b>5,666,026</b>
	<b>当期経常増減額【A】－【B】・・・①</b>		<b>-232,883</b>
<b>【C】</b>	<b>経常外収益</b>		
	<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>
<b>【D】</b>	<b>経常外費用</b>		
	<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>
	<b>当期経常外増減額【C】－【D】・・・②</b>		<b>0</b>
	<b>税引前当期正味財産増減額①+②・・・③</b>		<b>-232,883</b>
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		9,950,933
	<b>次期繰越正味財産額③－④+⑤</b>		<b>9,718,050</b>

## 2022年度 財産目録

特定非営利活動法人日本プロフェッショナルエンジニア協会  
 (単位：円)

科	目	金額	小計	合計
<b>【A】 資産の部</b>				
1	流動資産			
	現金預金			
	三菱UFJ銀行虎ノ門支店普通預金	8,782,682		
	ゆうちょ銀行振替貯金	1,370,876		
	PAYPAL口座	72,680	10,226,238	
	未収金			
	会費未収金	264,000	264,000	
	流動資産合計・・・①			10,490,238
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産	0	0	
	(2) 無形固定資産	0	0	
	(3) 投資その他の資産	0	0	
	固定資産合計・・・②			0
<b>【A】 資産合計 ①+②</b>				10,490,238
<b>【B-1】 負債の部</b>				
1	流動負債			
	未払金			
	理事会員諸経費未清算金	724,392	724,392	
	預り金			
	源泉徴収税	17,796	17,796	
	前受金			
	会費前受金	30,000	30,000	772,188
	流動負債合計・・・③			772,188
2	固定負債			
		0	0	
	固定負債合計・・・④			0
<b>【B-1】 負債合計 ③+④</b>				772,188
<b>【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】</b>				9,718,050

※1：ゆうちょ銀行普通貯金口座は用途がなかったため解約し、同振替貯金口座に振り込んだ。

※2：PAYPAL口座の預金は、2022年3月31日時点で、三菱UFJ銀行に振り込んだ。

## 2022年度 貸借対照表

特定非営利活動法人日本プロフェッショナルエンジニア協会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>		
1	流動資産		
	現金預金	10,226,238	
	未収金	264,000	
	流動資産合計・・・①		10,490,238
2	固定資産		
	(1)有形固定資産	0	
	(2)無形固定資産	0	
	(3)投資その他の資産	0	
	固定資産合計・・・②		0
<b>【A】</b>	<b>資産合計 ①+②</b>		10,490,238
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>		
1	流動負債		
	未払金	724,392	
	前受金	30,000	
	預り金	17,796	
	流動負債合計・・・③		772,188
2	固定負債		
		0	
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		772,188
<b>【B-2】</b>	<b>正味財産の部</b>		
	前期繰越正味財産額	9,950,933	
	当期正味財産増減額	-232,883	
	正味財産合計		9,718,050
<b>【B】</b>	<b>負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】</b>		10,490,238



## 2022年度 計算書類の注記 事業報告用

特定非営利活動法人日本プロフェッショナルエンジニア協会

1. 重要な会計方針  
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (1) ボランティアによる役務の提供の会計処理  
 ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。  
 また、計上額の算定方法は「3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」に記載しています。

2. 事業費の内訳

（単位：円）

科目	研修教育事業	調査研究事業	機関誌発行事業	合計
その他経費				
会議費	20,360			20,360
諸謝金	373,581	56,690		430,271
旅費交通費	32,736	687,364		720,100
印刷製本費	16,964	2,212	431,970	451,146
消耗品費	18,702			18,702
諸会費		112,350		112,350
通信運搬費	175,032	13,163	56,758	244,953
団体交流費		31,171		31,171
その他経費計	637,375	902,950	488,728	2,029,053

3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

内訳	金額	算定方法
理事及び監事 延べ1650.1時間	1,648,213円	東京都の最低賃金と役務提供時間により算出しています。2022年4月～9月1041円/時間 2022年10月～2023年3月1072円/時間

2022年度予実比較-1/2 (単位：円)

科目	2021年度 実績	2022年度 予算	2022年度 実績	注記
I.通常収益				
1.受取会費				
入会金	45,000	60,000	46,500	
正会員受取会費	2,052,000	2,196,000	2,208,000	
準会員受取会費	1,099,500	1,164,000	1,157,250	
2.受取寄付金				
ボランティア受入評価益	1,648,213	1,500,000	1,737,811	1)
3.事業収益				
研修教育事業収益	227,000	667,500	126,500	
調査研究事業収益	425,500	260,000	148,000	
4.その他収益				
受取利息	90	0	82	
経常収益計	5,497,303	5,847,500	5,433,143	

2022年度予実比較-2/2 (単位：円)

II.経常費用				
1.事業費				
(1)人件費				
ボランティア評価費用	1,648,213	1,500,000	1,737,811	※ボランティア評
人件費計	1,648,213	1,500,000	1,737,811	価費用として計上
(2)その他経費				
会議費	199,098	368,700	20,360	2)
諸謝金	501,021	741,306	430,271	3)
諸会費	147,264	432,000	112,350	
旅費交通費	60,298	173,000	720,100	4)
通信運搬費	381,434	829,000	244,953	5)
印刷製本費	836,657	481,000	451,146	6)
消耗品費	13,600	55,000	18,702	
業務委託費	145,590	0	0	
支払手数料	0	0	0	
団体交流費	0	0	31,171	
ボランティア評価費用	-	-	990,379	
その他経費計	2,284,962	3,080,006	2,029,053	
事業費計	3,933,175	4,580,006	3,019,432	
2.管理費				
(1)その他経費				
印刷製本費	124,327	36,000	10,064	
業務委託費	297,000	470,000	297,000	7)
会議費	76,600	252,600	259,639	
旅費交通費	62,526	140,000	169,008	
通信運搬費	404,383	1,132,100	814,200	8)
消耗品費	20,534	45,000	15,016	
賃借料	138,844	120,000	89,100	
保険料	7,000	10,000	7,000	
支払手数料	32,124	40,000	34,135	
貸倒損失	309,000	200,000	204,000	9)
雑費	1,500	40,000	0	
ボランティア評価費用	-	-	747,432	
その他経費計	1,473,838	2,485,700	1,899,162	
管理費計	1,473,838	2,485,700	2,646,594	
経常費用計	5,407,013	7,065,706	5,666,026	
当期正味財産増減額	318,290	-1,218,206	-232,883	

科目	2020/3/31	2021/3/31	2022/3/31	2023/3/31
I.資産の部				
1.流動資産				
現金預金	8,312,886	9,508,936	10,222,360	10,226,238
未収金	135,000	288,000	150,000	264,000
貯蔵品	0	0	0	0
前払費用	0	0	0	0
流動資産合計	8,447,886	9,796,936	10,372,360	10,490,238
2.固定資産				
基盤整備積立金	0	0	0	0
図書、電話など	0	0	0	0
固定資産合計	0	0	0	0
資産合計 (A)	8,447,886	9,796,936	10,372,360	10,490,238
II.負債の部				
1.流動負債				
前受金	19,000	3,000	9,000	30,000
未払金	364,851	142,413	402,147	724,392
預り金	38,804	9,880	10,280	17,796
流動負債合計	422,655	155,293	421,427	772,188
負債合計 (B)	422,655	155,293	421,427	772,188
III.正味財産の部				
前期繰越正味財産	7,989,754	8,025,245	9,641,643	9,950,933
当期正味財産増減額	35,477	1,616,398	309,290	-232,883
正味財産合計 =(A)+(B)	8,025,231	9,641,643	9,950,933	9,718,050
役員ボランティア時間(hr)	2,020.5	1,930.0	1,606.3	1,650.1